

航法システム研究会（第 139 回日本航海学会秋季大会）  
講演要旨

平成 30 年 10 月 26 日

### 富山県の港湾における防災対策について

上野 彰（富山県土木部港湾課長）

富山湾は海底が急勾配であり、あいがめと呼ばれる谷が各所に見られ、この複雑な海底地形と富山湾特有の寄り回り波や冬季風浪により全国でも有数の侵食海岸となっている。

伏木富山港はこのような地形条件のもと、本州のほぼ中央部に位置する地理的優位性を発揮し、古くから日本海側の重要な港として栄えてきたところであり、現在、富山県はもとより、北陸地域の物流拠点として重要な役割を担っている。

本講演では伏木富山港の概要から近年発生した波浪災害、港湾分野における事業継続計画の取組み事例を紹介する。今後の富山県を含めた北陸地域の防災対策を考える一助になれば幸いである。